

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	03	街路費

事業名	街路深江林ヶ原線整備事業	事業開始年度	平成 19 年度
	都市計画道路の整備促進（街路深江林ヶ原線整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 都市計画法

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	周辺地区の市民 街路利用者 など	大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である当該路線を平成27年度を目標に整備することにより、交通の円滑化、利用者の利便性、安全性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	—	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明 用地取得，工事発注，現場管理，地元調整 施設整備完了後の施設管理

3 平成26年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	○街路深江林ヶ原線の整備 街路深江林ヶ原線は大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である。このうち、交通混雑が激しい大野インターチェンジ南交差点から西側の326m区間を整備し、狭い地区内生活道路へ流入する通過交通の排除、信号待ちによる渋滞の解消、地区内生活道路の安全性の向上、変則交差点の改善を図る。 整備延長は、326m（内橋梁部23m） 幅員は、車道7mその片側に2.5mの歩道を有する9.5m。 平成22年7月事業認可を取得し用地取得に着手した。 平成26年度は、橋りょう下部工事と引き続き用地取得を進める。							
	○事業費関連 【歳入】 社会資本整備総合交付金(道路) 59,400千円 街路整備事業債(合併特例債) 60,200千円 公共施設等整備基金繰入金 6,000千円 【歳出】 不動産鑑定評価手数料等 44千円 補償金再算定等業務委託料 2,040千円 道路整備工事 77,000千円 用地購入費 2,500千円 物件等補償費 44,500千円 事務費(消耗品費) 116千円							
コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算				
	直接事業費 A	107,760,640	128,800,000	126,200,000				
	財源内訳	国庫支出金	58,058,000	68,200,000	59,400,000			
		県支出金						
		借入金(市債)	46,400,000	55,100,000	60,200,000			
		その他(使用料など)			6,000,000			
		市(市税など)	3,302,640	5,500,000	600,000			
人件費(按分) B	0.61人 5,402,770	0.61人 5,338,720	0.61人 5,191,710					
総事業費(A+B)	113,163,410	134,138,720	131,391,710					
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000人	118,000人	117,680人				
	② 市民1人当たり	959	1,137	1,117				
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考	
	活動成果	用地取得の進捗率	%	59	84	100	100	取得した面積/全体面積
	活動成果	利便性・安全性の向上	%	H27年度 完成目標(供用開始)			100%	